

令和3年度事業計画

I 基本方針

この地域における最近の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状態が続く中でも、輸出・生産が増加基調にあるなど持ち直しの動きがみられており、先行きについては、この持ち直しの動きが緩やかなペースで続くと期待されています。

その一方で、今般のコロナ禍が象徴するように不確実で先が読めない状況や少子高齢化で労働力が低下する中においては、自律性が高く、柔軟に問題を解決できる人材が求められるため、企業における人材育成の必要性がますます重視されています。そのため、企業等の人材育成支援を担う当協会の役割は、一層増大していくものと考えています。

このような状況において、令和2年度における外国人技能実習生を対象とした技能検定試験の受検申請者数は、過去最高となっています。令和3年度は、新たな技能実習生の入国ペースの鈍化が予想されるため、基礎級受検申請者数は減少するものの、随時3級及び随時2級受検申請者数は増加することが見込まれています。

そこで当協会では、外国人技能実習生を対象とする技能検定試験を始めとした基幹事業である「技能検定」を円滑に実施していくことが、令和3年度の大きな課題であると念頭に置いて、受検者の受検機会を確保するとともに、一人一人が安心して受検に臨めるよう、引き続き、感染防止対策を徹底した上で、関係機関と連携をとりながら技能検定試験を適切に実施してまいります。

また、企業・団体の人材育成を支援する「教育訓練事業」や、令和3年度も引き続き国から受託する「若年技能者人材育成支援等事業」においては、高度なものづくり技能を有する人材や若手技能者を指導する人材の育成支援、さらには、加速するデジタル社会の中で求められるスキルの向上支援など、社会や企業のニーズに即した取組を着実に実践してまいります。

なお、協会事業を安全に行うには万全な感染症対策が必要不可欠であるため、計画した事業を縮小して実施したり、中止したりすることもやむを得ないと考えております。

このように令和3年度もコロナ禍の影響が続くと見込まれ、先行き不透明感が依然としてあるため、これまで以上に協会の効率的・効果的な運営を図る必要があります。そのため、事務の改善に取り組んで執行額の抑制に努めるとともに、平成29年度末をもって休止した「ビジネス・キャリア検定試験」の実施協力を令和3年度から再開し、新たな収入確保にも取り組むこととしております。このように財政基盤の強化・安定化に努めながら、引き続き愛知県始め関係機関との強固な連携の下で諸事業を推進してまいります。

II 事業の内容

第1 協会の管理運営

1 会議

- (1) 総会の開催（1回）
- (2) 理事会の開催（1回）
- (3) 参与会の開催（1回）

- (4) 事業所部会（3回）及び共同訓練部会（2回）の開催

2 広報の実施

- (1) 協会会報「T&T」の作成、配布（2回）
- (2) 協会ホームページの活用（事業の実施状況と各種情報提供）
- ・技能検定などの各事業の実施状況
 - ・教育訓練事業などの受講者等募集案内
 - ・職業能力開発などの情報提供
 - ・技能五輪などの事業紹介 等
- (3) メールマガジンの配信（月1回）

第2 職業能力開発の振興事業

1 促進事業

- (1) 第71回愛知県職業能力開発促進大会の開催
- 時 期 令和3年11月26日（金）
- 場 所 刈谷市総合文化センター
- 内 容 職業訓練・技能検定功労者表彰 他
- (2) 職業訓練指導員講習（48時間講習）の実施
- 時 期 第1回：令和3年7月の7日間
第2回：令和4年2月の7日間
- 場 所 愛知県職業訓練会館
- 受講者 見込数80人（40人×2回）

2 振興事業

- (1) 事業所や団体などが行う認定職業訓練の支援事業
- ア 訓練生文化・体育事業
- (ア) 文化事業
- 体験発表会・文化展（11月）、技能コンクール（令和4年2月）
- (イ) 体育事業
- オリエンテーリング大会（中止）、体育大会（7月）、
ソフトボール大会（9月）、駅伝大会（12月）
- イ 職業訓練指導員等研修事業
- (ア) 職業訓練指導員等研修（6月、9月、10月 計3回）
- (イ) 職業訓練生合同学習（中止）
- ウ その他
- (ア) 事業内職業訓練の指導・援助
- (イ) 普通課程訓練成績優良修了者の表彰
- (2) 次代を担うものづくり人材育成支援事業 ―あいち技能五輪・アビリンピック推進協議会寄附金活用事業―
- 第59回技能五輪全国大会及び第41回全国アビリンピックの参加選手強化訓練の実施を支援する。（48人）

第3 教育訓練事業

【新入社員教育等各種講習会】

| 種 別 | 回数(回) | 受講者見込数(人) |
|------------------|-------|-----------|
| 監督者訓練・監督者訓練員養成講習 | 15 | 110 |
| 階層別研修 | 28 | 350 |
| 機能別研修 | 8 | 100 |
| オーダーメイド講習 | 21 | 220 |
| パソコン講習 | 54 | 320 |
| 計 | 126 | 1,100 |

第4 職業能力評価事業

1 技能検定試験

(1) 受検者見込数

| 種 別 | 受検者見込数(人) |
|--------------------|-----------|
| 定期試験 | 12,600 |
| 随時試験 (外国人技能実習生等対象) | 15,800 |
| 計 | 28,400 |

(2) 実施予定職種数・作業数

| 級 別 | 職種数(職種) | 作業数(作業) | |
|------|---------|---------|-----|
| 定期試験 | 特 級 | 25 | — |
| | 1・2級 | 84 | 137 |
| | 3 級 | 33 | 42 |
| | 単一等級 | 7 | 8 |
| 随時試験 | 随時2級 | 50 | 80 |
| | 随時3級 | 53 | 86 |
| | 基礎級 | 53 | 86 |

(3) フォローアップ講習等の実施

2 コンピュータサービス技能評価試験

ワープロ部門始め3部門 受験者見込数1000人

3 ビジネス・キャリア検定試験

企業法務・総務分野始め8部門 受験者見込数2,000人

第5 技能五輪推進事業

1 技能五輪愛知県大会 (全国大会予選) の実施

実施職種 13職種

※ このうち3職種を「第7若年技能者人材育成支援等事業」として実施

2 第59回技能五輪全国大会参加選手強化訓練の実施支援(再掲)

※ 「第2-2-(2)次代を担うものづくり人材育成支援事業」として実施

3 第59回技能五輪全国大会愛知県選手団事務局の運営

愛知県選手団結団式の実施(11月)等

| | |
|------|----------------------|
| 開催日程 | 令和3年12月17日(金)~20日(月) |
| 競技会場 | 東京ビッグサイト(東京国際展示場)等 |

第6 愛知県職業訓練会館管理運営事業

認定職業訓練の場を提供するため、愛知県が設置した「愛知県職業訓練会館」の管理及び運営を行う。

第7 若年技能者人材育成支援等事業(国委託事業)

1 ものづくりマイスター等の活用

若年技能者への指導による技能の継承や後継者の育成を支援する。

- (1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助の実施
- (2) ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施(目標数3, 100人日)
- (3) 「目指せマイスター」プロジェクト(目標数2, 100人日)
 - ア ものづくりの魅力発信
ものづくり体験会の実施
 - イ ITの魅力発信
IT体験会の実施

2 ものづくりマイスター等の認定・登録

- (1) ものづくりマイスター等の認定登録
ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスター候補者の開拓
- (2) ものづくりマイスター等への指導技法等講習

3 地域における技能振興

- (1) 技能五輪全国大会の予選の実施等
 - ア 技能五輪全国大会予選の実施(3職種)
 - イ 全国大会(技能五輪・若年者ものづくり競技大会)参加に係る支援
- (2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組
 - ア ものづくり体験フェア等のイベント開催
 - イ 熟練技能者の派遣による指導及びものづくり体験会の実施

4 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

学識経験者、行政機関、経済団体等関係者との会議の開催(2回)